

# 地域を支える福祉・医療・法律・教育をつなぐ研修会

一般社団法人 権利擁護あおい森ねっと  
〒036-8217 青森県弘前市茂森町 25-1 SK ビル 102 号

## 助成事業の概要

「住みやすい地域」をつくるために、横断的なネットワークを形成することを目的とする。

6月17日（金）から平成29年2月17日（金）まで、月1回開催した。

研修会は基礎講義と事例検討という構成で開催した。テーマは「在宅生活を支える医療と福祉の連携」、「利用者や家族の借金問題を解決するには?」、「意外と知らない年金・社会保険のしくみ」、「入所施設の金銭管理のリスク」、「福祉職・成年後見人に必要な税の知識」、「入所契約で配慮すること」、「相続・遺産分割について」、「任意後見制度と遺言作成」である。各回のテーマについて、弁護士や司法書士、社会保険労務士、税理士、医師を講師に招いた。事例検討では、テーマに沿った事例を紹介し、参加者それぞれの立場からの対応方法や疑問を挙げてもらい、解決するためにはどうしたらよいかを検討した。意見交換をすることで、職種や業種、立場を越えた繋がりができ、ネットワークが形成された。

## 事業の成果

平成28年6月から平成29年2月にわたり、計9回の研修会を実施した。取り上げたテーマは、日常的によくわからないこと、知っておいた方がよいという法律等の内容にした。

研修の参加者は、福祉職・司法職・行政職等に加え、市民の参加もあった。特に弘前市内では市民後見人が誕生し、活動を始めているため、被後

見人を支えるためには総合的な知識が必要であることから、市民後見人や市民後見人養成研修を受講し、待機者となっている人の参加も多かった。

今回、地域の資源となる専門職をピックアップし、わかりやすい講義に徹していただいた。この研修会を中心に異業種のネットワークが広がり、同じ地域に住む専門職の顔が見えるようになり、職種による考え方や視点の違いなど、とかく縦割りになりがちな課題について、横断的に考えるという仕組み作りにも役に立っている。特に事例検討の場面で、医療同意や身元引受人の課題などは、参加した医師の立場と弁護士の意見に違いがあり、現場で起こっていることについて、どのように考えて対応していくのかということを考えさせられる場面もあり、参加者にとって非常に有効であった。どちらが正しいということではなく、地域のコンセンサスを作るという新たな課題が発見された場面でもあった。

研修終了後の参加者へアンケート調査の結果からも研修の評価が高く、特に講義のみではなく、事例検討を取り入れたことにより、より現場で生かせる知識として受講者にとっては有効であった。

テーマとして難しい内容は今後も継続して取り上げる必要があり、「わからないことがわかった」というアンケートも寄せられている。研修参加者が「自分のための知識」というよりも、高齢者や障がい者、市民を支援する側として、社会で生活するうえでの知識の習得が大事であることを実感させる内容であったことも効果があった。

市民を巻き込みながら、専門職のネットワーク

が構築し、安心して生活できる地域づくりへの活動が拡大したことが一番の成果と言える。

## ■ 成果の広報、公表

関係者や関係機関に研修資料や報告書を配布し、HP に掲載するなど、弘前市内において助成事業を受けることにより、上記のような成果があり、このような地道な活動を展開していることを発信していく。

また市内の事業所や福祉職、司法所職、行政職等の専門職のみならず、市民後見人やその待機者等も含めて広くネットワークを構築していくことで、助成団体であるあおい森ねっとだけではなく、参加者も利用者支援や市民のサポートできるようになり、そのゆるやかな成果は地域に還元できることを今後の地域活動や利用者支援を通して、社会や地域へ伝えていく。

また今後も研修会を継続し、今回取り上げた内容で難しかった内容やさらに知識を深めたいテーマ、現在の地域課題を取り上げ、超高齢化社会の中で、困難な事案について、解決に結びつくようなネットワークの拡大と安定、課題を解決できる技術の研鑽を図ることができるように、事業実施の成果を広報・公表していく。

## ■ 今後の展開

今回の助成事業は、「地域を支える福祉・医療・法律・教育をつなぐ研修会」であった。2000年の介護保険制度後は、福祉と医療の連携は進んでいるように思うが、さらに法律や教育となるとそれぞれの分野の特徴があり、連携が十分ということとはできない。

昨年、青森県では相次ぐ中学生の自殺があり、福祉や法律が教育の分野へもっと関わっていくことの必要性を感じている。学校へ通う生徒や親が

悩んだ時に相談できる場所が学校や教育委員会といった限られた場所であり、もっと広く社会の中で相談ができたり、見守る体制ができなければ子どもたちを守ることができないと感じている。

地域を支える福祉・医療・法律・教育をつなぐ研修会を継続し、今回取り上げた内容で難しかった内容やさらに知識を深めたいテーマ、現在の地域課題を取り上げ、超高齢化社会の中で、困難な事案について、解決に結びつくようなネットワークの拡大と安定、課題を解決できる技術の研鑽を図ることができるように取り組んでいく。